

丸亀支部 活動報告

1 研究主題

社会と連携・協働した未来の創り手を育成する放送・メディア教育を推進しよう

2 はじめに

メディア教育部会丸亀支部では、今年度の研究テーマを平成 30 年度放送教育研究大会四国大会香川大会の研究主題である『社会と連携・協働した未来の創り手を育成する放送・メディア教育を推進しよう』とした。その中で、昨年度の実践を踏まえ、平成 30 年度に研究大会が予定されている綾歌中学校の実践報告を中心として、各種視聴覚機器・教材の活用事例の研究を重ね、より効果的な活用のあり方、また、NHK for School の活用方法などについて研究を深めた。

3 研究計画

5月2日(火)丸亀市中学校教育研究会

会場 丸亀市立西中学校

8月18日(金)県メディア部会夏季研修会

会場 eーとびあかがわ

12月6日(水)丸亀市中学校教育研究会

会場 丸亀市立南中学校

4 研究内容

(1)綾歌中学校の平成 29 年度研究・実践報告

①香川県中学校教育研究会メディア教育部会丸亀支部綾歌中学校合同放送教育勉強会

日時 平成 29 年 7 月 27 日 10:00~11:30

講師 NHK日本語センター 小原先生

内容 「NHK for School 基礎セミナー」

②本年度開催の放送教育研究大会への参加

・中国地方放送教育研究大会岡山大会

H29. 10. 24

・視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会合同大会宮城大会

H29. 10. 28. 29

・近畿放送教育研究大会・近畿学校視聴覚教育研究大会

H29. 11. 17

③ 授業実践の蓄積

●使用したメディア教材をA~Fに分類し、授業実践の蓄積を行った

A NHK学校放送番組を用いた実践

B その他の局の放送番組を用いた実践

C クリップ教材を用いた実践

D 視聴覚(市販物等)を用いた実践

E 視聴覚(自作物)を用いた実践

F その他(教材の複合的な活用など)

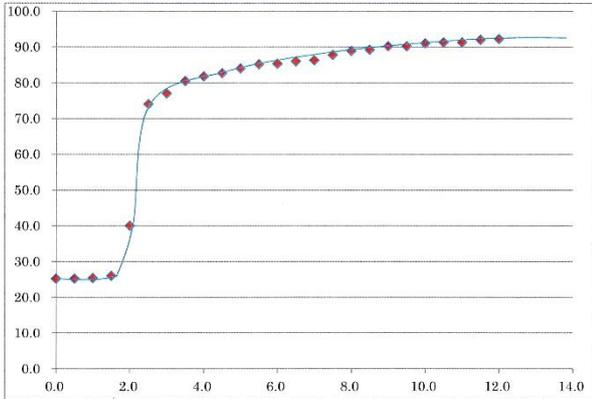
④ 放送教育研究会第1回研究部会

(鳴門教育大学 藤村裕一先生より)

主体的とは、問題発見能力があるということであり、これを身に着けさせるということは難しい。生徒が発見するのを、教師が仕組むことが大切であり、教師が仕組む工夫が、NHK for school にある。対話的とは、異なる価値観を認められるということであり、テーマの「社会と協働・連携した」の前提となる。ゴールは深い学びである。

(2) 各中学校取り組み・実践報告

- ・市販教材（DVDなど）を使った授業（歴史、理科など）
- ・理科の実験結果を自動でグラフ化するソフトをつかった授業（蒸留の実験）



- ・NHK for school を使った授業（考えるクラス、10 min ボックスなど）
 - ・グーグルアースを使った授業
 - ・ICT機器を活用した授業、パワーポイントを使った授業
- <理科> 全身を映すのに必要な鏡の長さはいくらだけ必要か



<理科> 光の反射の法則



<英語> 発音練習にパワーポイントを活用
新出表現の文法事項の導入や活用

図1



図2

私は、テニスをするのが好きです。



I like to play tennis.

= I like playing tennis.

<英語> 教科書の音読活動での活用

図3



- ・「ブラタモリ」などTV番組を使った授業（地理、ブラタモリ#59 さぬきうどん）

5 今後の課題

NHK for school をどのように活用して、生徒が自主的に問題発見能力を身に付けさせるのか、研究を深めていきたい。